

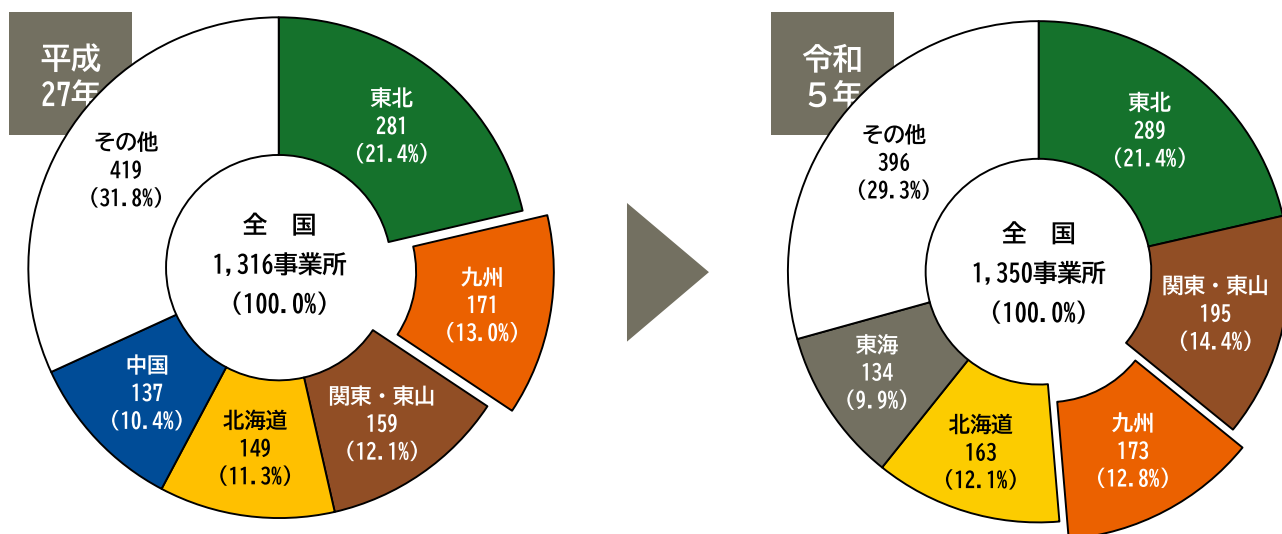
7. 木質バイオマス - Woody Biomass -

九州の木質バイオマスエネルギー利用事業所数は173事業所。

木質バイオマスには、主に、樹木の伐採・造材時に発生した枝及び葉等の林地残材、製材工場等から発生する樹皮及びのこ屑等のほか、住宅の解体材や街路樹の剪定枝等の種類があります。

令和5年における九州の木質バイオマスエネルギー利用事業所数は173事業所で、全国の12.8%を占めており、8年前（平成27年）に比べ2事業所増加しています。

農業地域別 木質バイオマスエネルギー利用事業所数



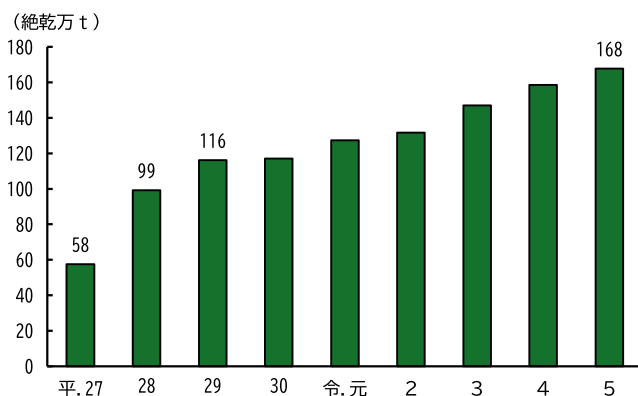
資料：農林水産省統計部「木質バイオマスエネルギー利用動向調査」（以下同じ）

間伐材・林地残材等は大幅に増加。

九州における木質バイオマスエネルギーに利用された木材チップの量は常に増加傾向で推移しています。

また、木材チップの由来別割合をみると、間伐材・林地残材等が最も大きく、8年前（平成27年）に比べ利用量及び割合ともに大幅に増加していることから、林地未利用材の活用が進んでいるといえます。

木材チップ利用量の推移（九州）



注：平成30年～令和4年に佐賀県は含まれていません。
(秘匿措置のため)

木材チップの由来別割合（九州）
(平成27年・令和5年)

